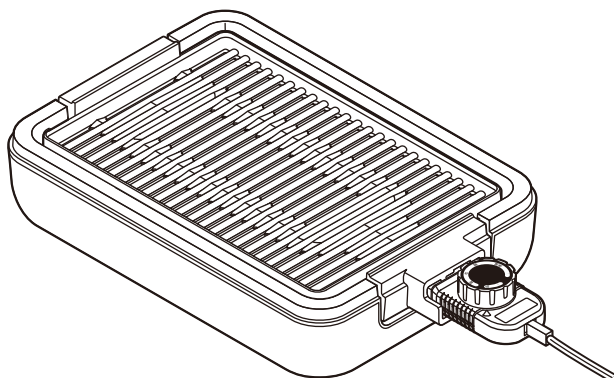


- 業務用として使用しないでください。
 - 他の用途で使用しないでください。
- 思わぬ事故の原因になります。

家庭用

減煙焼き肉グリル YGMA-X101



もくじ

■ 安全上の注意	1～4
■ 各部の名称	5～6
■ 使用前の注意	7
■ 使いかた	
● 水トレイをセットする	7
● 水トレイに水を入れる	8
● プレートをセットする	8
● コントローラーを差し込む	9
● 電源プラグを家庭用コンセントに差し込む	10
● 予熱する	10
● 調理する	11～12
● 使用後は	12
■ フッ素コーティングを長持ちさせるために	12
■ お手入れと保管	13～16
■ 仕様	17
■ 故障かな?と思ったら	17
■ 点検のお願い	18
■ アフターサービスについて	18
■ 保証書	裏表紙

この製品は、海外では使用できません。
FOR USE IN JAPAN ONLY

- このたびは、弊社焼き肉グリルをお買上げいただき、誠にありがとうございました。
- 使用する前に、この取扱説明書を必ずよく読み正しく安全に使用してください。
- 読んだあとは、大切に保管してください。

最新情報はオリジナルブランドページ

YAMAZEN BOOK を
チェック!



随時情報を更新中!

安全上の注意

使用する前に「安全上の注意」をよく読み、必ず守ってください。

※ここに示した項目は、製品を安全に正しく使用するためや、使用する人や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するためのものです。また危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取扱いをすると生じることが想定される内容を「警告」「注意」の2つに区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。



警告

この表示を無視して誤った取扱いをすると、死亡 または 重傷を負うことが想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して誤った取扱いをすると、傷害を負ったり物的損害の発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例



○記号は、禁止「してはいけないこと」を表示しています。図の中に具体的な禁止内容（左図の場合は、分解禁止）が描かれています。



●記号は、強制「しなければいけないこと」を表示しています。図の中に具体的な指示内容（左図の場合は、電源プラグをコンセントから抜く）が描かれています。

※読んだあとは、使用する人がいつでも手に取れる場所に、必ず保管してください。



警告

■ 電源コード・電源プラグについて



電源プラグは、根元まで確実に
真っ直ぐ差し込む

指示に従う

- 発熱・感電・火災の原因になります。
- 斜めに差し込まない。



定期的に電源プラグのホコリをふき
取る

指示に従う

- ホコリがたまると、湿気によって絶縁不良となり、ショート・感電・火災の原因になります。
- ホコリは、乾いたふきんでふき取る。



製品に破損、故障、異常があったり、
電源コードや電源プラグが異常に
熱くなるときは、直ちに使用を中止
する

指示に従う

- やけど・感電・火災の原因になります。
- ※故障・異常例
18ページの「点検のお願い こんな症状はありませんか？」を参照して異常があるときは、直ちに使用を中止する。必ず電源プラグをコンセントから抜き、お買上げの販売店に点検や修理を依頼してください。



家庭用コンセント (AC 100V、定格
15A以上) を単独で使用する

指示に従う

- 家庭用コンセント (AC100V) 以外で使用する、誤作動・故障の原因になります。
- コンセントや配線器具の定格を超える使いかた (タコ足配線など) をすると、異常発熱・火災の原因になります。



禁止

電源コードや電源プラグが傷んで
いたり、差し込みがゆるいときは、
使用しない

- ショート・感電・火災の原因になります。



禁止

電源コードや電源プラグを傷付け
たり、破損させたり、加工したり、
熱器具に近づけたり、無理に曲げ
たり、ねじったり、引っ張ったり、巻き
付けたり、たばねて使用しない

- ショート・感電・火災の原因になります。
- 必ず結束バンドを外して、電源コードをのばす。



禁止

電源コードの上に、本体や物を載せ
たり、挟み込まない

- ショート・感電・火災の原因になります。



プラグを抜く

使用しないときは、電源プラグを
コンセントから抜く

- 感電・漏電火災の原因になります。

警告

■ 使用場所について

 禁止 熱に弱い敷物（テーブルクロスなど）の上や燃えやすい物（カーテンや新聞紙など）が周辺にある場所で使用しない ●変色・発煙・火災の原因になります。 ◎燃えやすい物をプレートの上に載せたり、本体の下に入れて使用しない。 ◎使用後も余熱で熱くなっているので、十分注意する。	 禁止 フローリング、畳、じゅうたんの上で使用しない ●変色・発煙・火災の原因になります。 ◎使用後も余熱で熱くなっているので、十分注意する。  禁止 可燃性ガスや引火性の物（ガソリンやシンナーなど）がある場所で使用したり、スプレー缶（掃除用、整髪用、殺虫剤など）を近くに置かない ●爆発・火災の原因になります。
--	--

■ 使用について

 分解禁止 分解、修理、改造をしない ●やけど・感電・火災の原因になります。 ※修理は、お買上げの販売店に依頼してください。	 禁止 子供や取扱いに不慣れな方だけで使用しない 乳幼児の手の届く場所で使用したり、保管しない ●けが・やけどの原因になります。
 禁止 差し込み口、ピン、感熱棒、ピン挿入口に異物や金属物（ごみ、ホコリ、針金など）を付着させたり、入れない ●発煙・感電・火災の原因になります。 ◎調理くず、油、汚れ、ホコリが付着したときは、そのまま使用せず乾いたふきんで必ずふき取る。	 禁止 付属のコントローラー以外を使用したり、他の製品に使用しない ●故障・異常発熱・火災の原因になります。 ●付属のコントローラーは、本製品専用です。 ◎他製品のコントローラーを使用しない。 ◎他製品に転用しない。
 禁止 プレートを本体から取り外した状態で電源を入れない ●やけど・火災の原因になります。	 禁止 コントローラーを差し込み口に差し込んでいない状態で電源を入れない ●ショート・感電の原因になります。
 禁止 プレート裏面や本体裏面（底面）を上にして使用しない ●火災の原因になります。 ◎本体は、すべり止めを下にして使用する。 ◎プレートは、焼き面（表面）を上にして使用する。	 指示に従う 使用するときは、必ず水トレイをセットして水を入れる ●変色・発煙・火災の原因になります。 ◎煙が多くなったり、使用場所が変色する原因になるので、必ず水を入れてから使用する。 ◎長時間使用するときは、12ページの「使用時の水量について」を参照して、水の量に注意する。
 指示に従う コントローラーを差し込むときは、コントローラーのストッパーが差し込み口のストッパーにあたるまで確実に真っ直ぐ差し込む ●故障・異常発熱・火災の原因になります。	 禁止 使用中は、その場を離れない ●過熱により調理物がこげて煙が出たり、火災の原因になります。 ◎離れるときは、温度調節ダイヤルを「切」に合わせる。
 接触禁止 使用中や使用後しばらくは、プレート、水トレイ、感熱棒に手や顔を近づけたり、触れない ●やけどの原因になります。 ◎使用中は、各部が高温になるので注意する。 ◎とくに乳幼児には、触らせないように注意する。	 指示に従う 各部品を取り外したり、持ち運ぶときは、必ず電源プラグをコンセントから抜き、十分冷めてからおこなう ●ショート・やけど・感電の原因になります。

警告

■ お手入れ・保管について

 お手入れのときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く ●ショート・やけど・感電の原因になります。 プラグを抜く	 ぬれた手でコントローラーや電源プラグを抜き差ししない ●ショート・感電の原因になります。 ぬれ手禁止
 お手入れのときは、十分冷めてからおこなう ●やけどの原因になります。 指示に従う	 各種スプレー（掃除用、整髪用、殺虫剤など）を吹き付けない ●ガスが滞留して、爆発・火災の原因になります。 ●変色・破損の原因になります。 禁止
 取っ手（差し込み口）、ピン、コントローラーを水に入れたり、水をかけたり、丸洗いをしない ●ショート・感電・火災の原因になります。 ◎水にぬれたときは、そのまま使用せず乾いたふきんで必ずふき取って乾燥させる。 水ぬれ禁止	 包装用ポリ袋は、子供の手の届かない場所に保管する ●誤って顔にかぶったり、巻き付いたりして、窒息する原因になります。 指示に従う

注意

■ 電源コード・電源プラグについて

 コントローラーや電源プラグを抜くときは、コントローラーや電源プラグを持って、真っ直ぐ抜く ●電源コードを引っ張って抜くと、電源コードが断線して、ショート・感電・火災の原因になります。 指示に従う	 電源コードを持って、本体やコントローラーを引っ張らない ●使用場所が傷付いたり、電源コードが断線して、ショート・感電・火災の原因になります。 禁止
 電源コードを引っ掛けないように注意する ●転倒や落下して、故障・けが・やけどの原因になります。 指示に従う	 電源プラグを抜き差しするときは、必ず温度調節ダイヤルを「切」に合わせてからおこなう ●故障の原因になります。 指示に従う

■ 使用場所について

 油、油煙、金属粉が発生する場所（厨房や工場）やホコリの多い場所で使用しない ●変形・故障・感電・火災の原因になります。 禁止	 水や蒸気がかかる場所、水にぬれた場所、湿気の多い場所で使用しない ●ショート・感電の原因になります。 ◎とくに取っ手（差し込み口）やコントローラーには注意する。 水ぬれ禁止
 直射日光が当たる場所、火気や熱源（コンロや暖房器具）の近くで使用しない ●変色・変形・火災の原因になります。 禁止	 壁や家具の近く、キッチン棚の中で使用しない ●熱により壁や家具を傷めたり、変色・火災の原因になります。 禁止
 安定した水平な場所で使用する ●転倒や落下して、故障・けが・やけどの原因になります。 ◎傾いた場所や不安定な場所で使用しない。 指示に従う	◎とくに天然木、白木、コーティング加工された木製品は、熱に弱いので変色しやすいので注意する。

⚠ 注意

■ 使用について

 業務用に使用しない ●無理な負担がかかり、破損・故障・火災の原因になります。 禁止	 調理以外の目的で使用しない ●やけど・火災の原因になります。 禁止
 動物（犬や猫など）がいる部屋で使用するときは、十分注意する ●コントローラーや電源コードを傷め、ショート・感電・火災の原因になります。 指示に従う	 水トレイに水以外の物（クッキングペーパーやアルミホイルなど）を入れて使用しない ●発煙・やけど・火災の原因になります。 禁止
 プレートを直火（ガスコンロなど）にかけたり、電磁調理器（IHクッキングヒーター）や電気コンロの上で使用しない ●フッ素コーティングが傷んだり、変形・やけど・火災の原因になります。 禁止	 調理開始前の予熱以外のカラ焼きをしたり、必要以上に加熱しない ●過熱により、変形・故障・発煙・火災の原因になります。 ●プレートが異常に高温になるとガスが発生して、人や動物（犬や猫など）の健康を害する原因になります。 禁止
 使用中にアルミホイルや鍋ふたでプレートを覆わない ●異常発熱・発煙・火災の原因になります。 禁止	 金属製の器具類（トンガやヘラなど）を使用したり、プレートの表面や角部（コーナー）をこすらない ●フッ素コーティングを傷める原因になります。 ◎器具類は、木製や耐熱樹脂製の物を使用する。 禁止
 調理物以外の物（やかん、鍋、缶詰、瓶詰など）をプレートに載せて加熱しない ●フッ素コーティングが傷んだり、破裂・やけどの原因になります。 禁止	
 持ち運ぶときは、本体をしっかりと持っておこなう ●落下して、破損・故障・けがの原因になります。 ◎電源コードを引っ掛ける原因になるのでコントローラーを取り外してから持ち運ぶ。 ◎水がこぼれる原因になるので、水トレイの水を捨ててから持ち運ぶ。 指示に従う	 落とししたり、強い衝撃を与えない ●破損・故障・けがの原因になります。 ●フッ素コーティングを傷める原因になります。 ◎コントローラーに強い衝撃を与えると電源が入らなくなったり、温度調節ができなくなり、火災の原因になるのでとくに注意する。 禁止

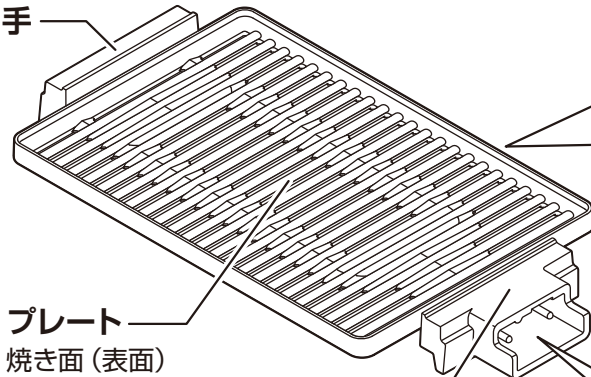
■ お手入れ・保管について

 お手入れには、シンナー、ベンジン、漂白剤、みがき粉、たわし、スポンジの研磨面、金属ブラシ類は使用しない ●変色・傷・破損の原因になります。 ●フッ素コーティングを傷める原因になります。 ◎お手入れは、13～16ページの「お手入れと保管」を参照する。 ◎傷が付きやすい物やかたい物でお手入れをしない。 禁止	 使用後は、必ず毎回お手入れをする ●調理くず、油、汚れが残ったまま放置すると変色したり、フッ素コーティングが傷んだり、油の種類によってはプラスチックを劣化させたり、そのまま使用すると、発煙・火災の原因になります。 指示に従う
	 収納や保管をするときに本体、プレート、水トレイの上に物を載せない ●変形・破損・故障の原因になります。 禁止

各部の名称

プレート

取っ手

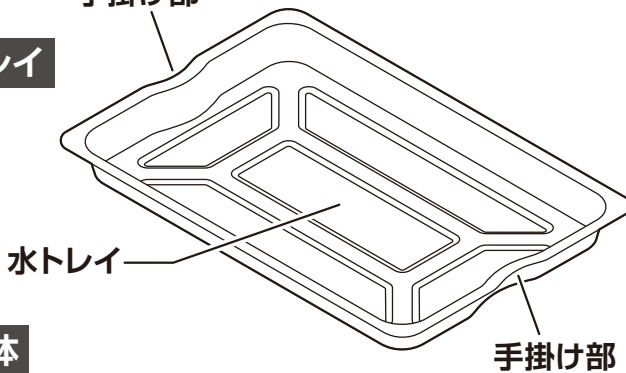


プレート
焼き面 (表面)

取っ手 (差し込み口)

手掛け部

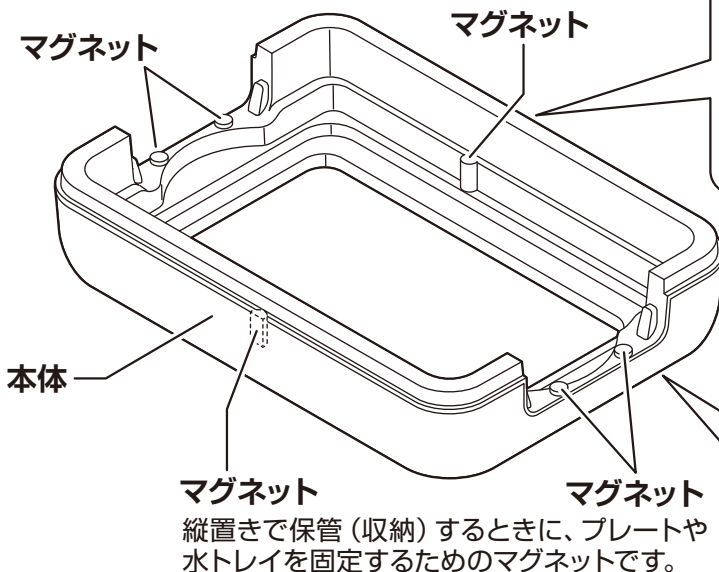
水トレイ



水トレイ

手掛け部

本体



マグネット

マグネット

本体

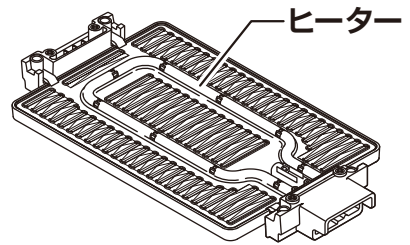
マグネット

マグネット

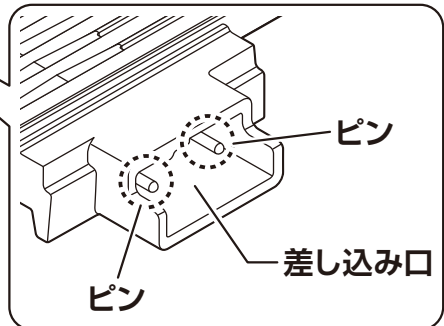
縦置きで保管 (収納) するときに、プレートや水トレイを固定するためのマグネットです。

プレート裏面

ヒーターがある側がプレート裏面です。



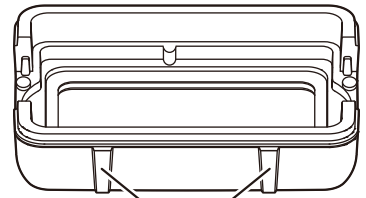
ヒーター



ピン

差し込み口

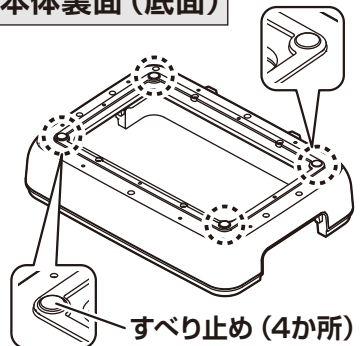
ピン



スタンド

スタンドは、本体の片側のみにあります。
縦置きに保管 (収納) するときに使用します。

本体裏面 (底面)



すべり止め (4か所)

すべり止めがある側が本体裏面 (底面) です。

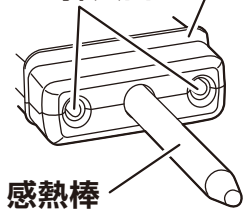
●本書は、イラストを用いて説明しています。
実際の製品とは、多少異なることがあります。

各部の名称

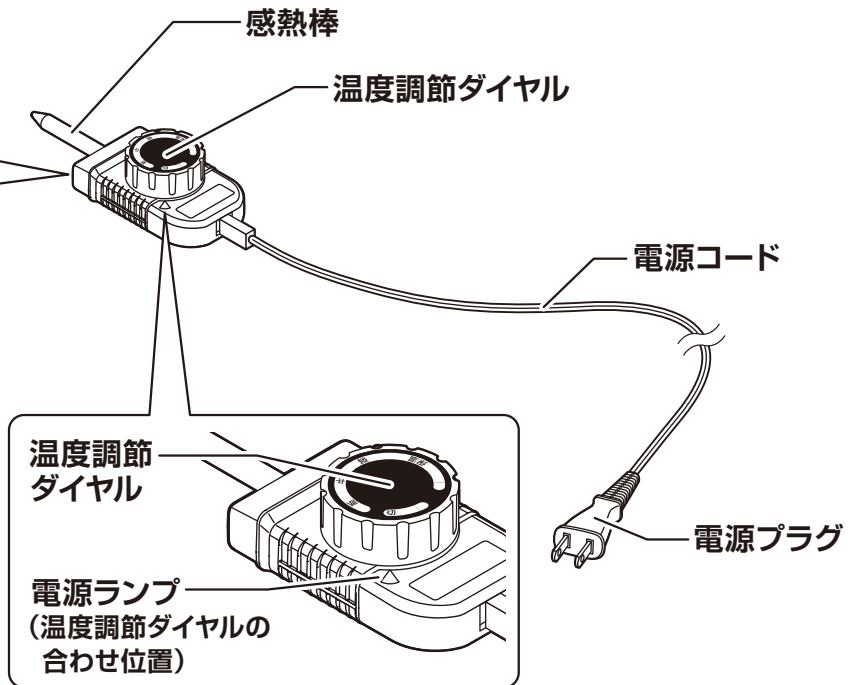
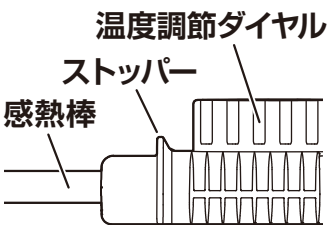
コントローラー (自動温度調節器)

感熱棒側から見た図

ピン挿入口 ストッパー



真横から見た図



プレートについてのお知らせ

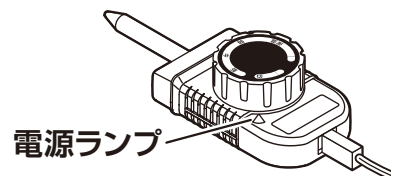
- プレートの焼き面（表面）と裏面には、フッ素コーティングが施されています。
 - プレートは、最初から多少の色ムラがあることがありますが、使用上支障ありません。
 - 長期間使用していると、調理物の油によって変色することがありますが、使用上支障ありません。
- ※金属製の器具類（ tongやへらなど）を使用したり、プレートの表面や角部（コーナー）をこすらないでください。
フッ素コーティングを傷める原因になります。
器具類を使用するときは、木製や耐熱樹脂製の物を使用してください。

水トレイについてのお知らせ

- 水トレイは、アルミニウム処理された鋼板です。
くり返しの使用で、水トレイが変色することがありますが、アルミニウム特有の黒変化現象で食品衛生上問題はありません。

コントローラーについてのお知らせ

- 温度調節は、コントローラーでおこなっています。
コントローラーによって、ヒーターへの通電を入/切しながら、自動的に温度を調節します。
- ヒーターの入/切に合わせて、電源ランプが点灯/消灯します。



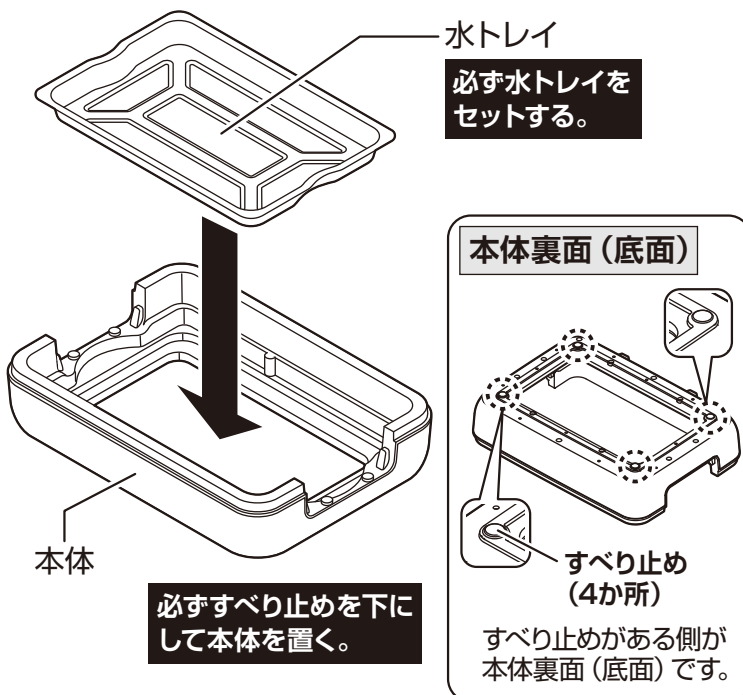
使用前の注意

- ※はじめて使用するときは、14ページの「お手入れと保管」を参照して、プレートをお手入れしてください。
- ※はじめて使用するときは、においや煙が出ることがありますが、故障や異常ではありません。においや煙は、使用にともない出なくなりますが、気になるときは換気扇を回したり、窓を開けて換気をおこなってください。
- ※使用する台（テーブルやキッチンカウンターなど）の材質が天然木、白木、コーティング加工された木製品のときは、熱に弱いため変色したり、こげることがありますので注意してください。
- ※長時間同じ場所で使用したり、いつも同じ場所で使用するときは、使用する台が変色していないか、ときどき確認してください。
同じ場所で長時間使用すると、使用する台（テーブルやキッチンカウンターなど）が変色することがありますので注意してください。

使いかた

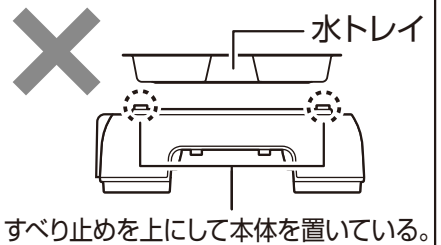
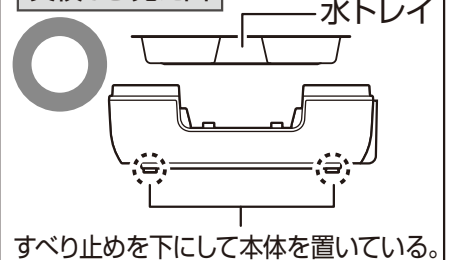
水トレイをセットする

- ※使用するときは、必ず水トレイをセットしてください。
- 平らな安定した場所に本体を置き、水トレイをセットします。



すべり止めを下にして本体を置き水トレイをセットする。

真横から見た図



注意

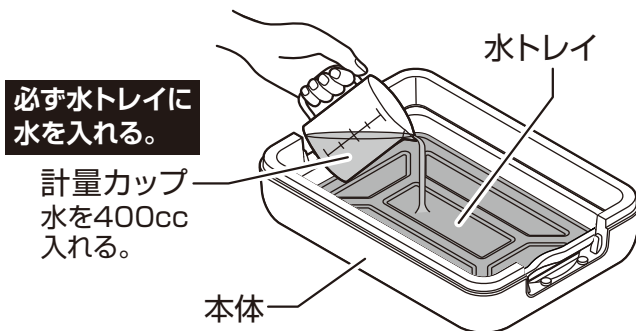
- ※水トレイは、傾きやズレがないよう確実にセットしてください。
使用するときには水を入れるため、水トレイが確実にセットされていないと、水がこぼれる原因になります。

使いかた

水トレイに水を入れる

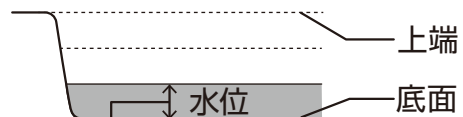
※使用するときは、必ず水トレイに水を入れてください。

- 計量カップで水を400cc量り、水トレイに入れます。
水を入れることで使用中の煙やこげつきを抑えられ、お手入れもしやすくなります。



水トレイの断面図

計量カップで量れないときは、水トレイの約1/3まで水を入れる。



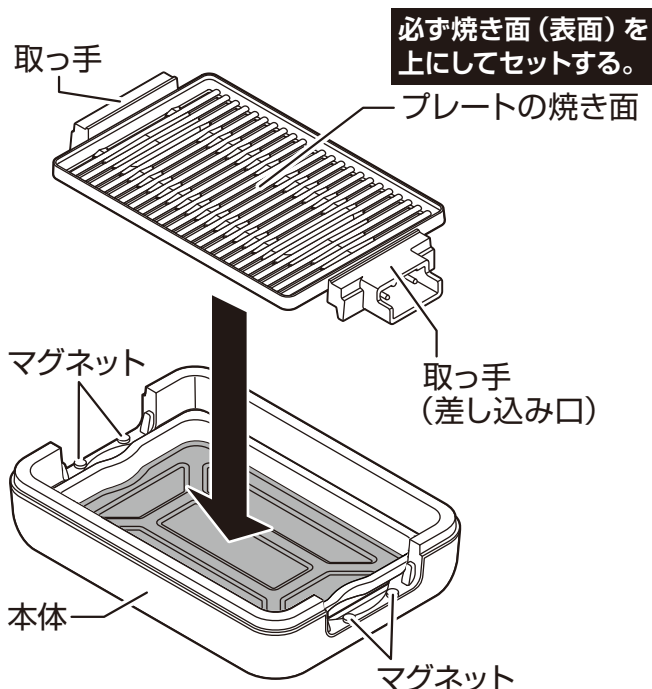
水トレイの底面から上端までの約1/3まで水を入れると、約400ccの水量になります。(目安)

注意

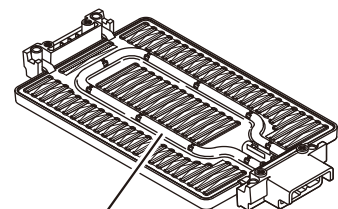
※調理中に出る余分な油を落としながら調理します。
落ちた油を水トレイに入れた水で受けるため、必ず水トレイに水を入れてください。

プレートセットする

- プレートの焼き面を上にして、本体にセットします。



プレート裏面



ヒーターがある側がプレート裏面です。

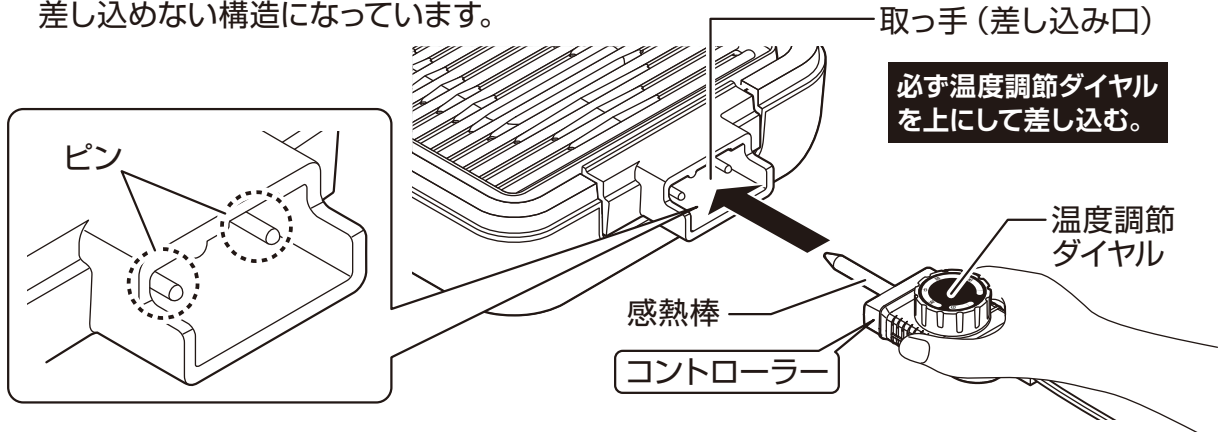
注意

※プレートは、傾きやズレがないよう確実にセットしてください。
プレートが確実にセットされていないと、プレートが本体に触れて、変形・発煙・火災の原因になります。

使いかた

コントローラーを差し込む

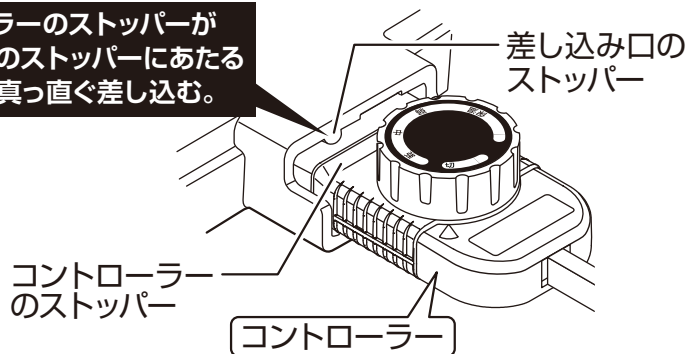
- コントローラーを取っ手（差し込み口）に差し込みます。
コントローラーは、温度調節ダイヤルを下（逆向き）にすると差し込めない構造になっています。



コントローラーを差し込むときの注意

- ※コントローラーは、コントローラーのストッパーが差し込み口のストッパーにあたるまで、確実に差し込んでください。
差し込みが浅かったり、調理くず、油、汚れ、ホコリが付着したまま差し込むと、故障して使用できなくなったり、異常発熱して発煙・感電・火災の原因になります。

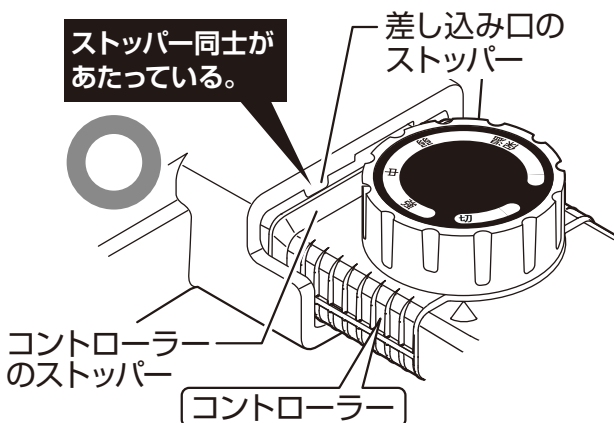
コントローラーのストッパーが差し込み口のストッパーにあたるまで確実に真っ直ぐ差し込む。



確実に差し込まれた状態

ストッパー同士が
あたっている。

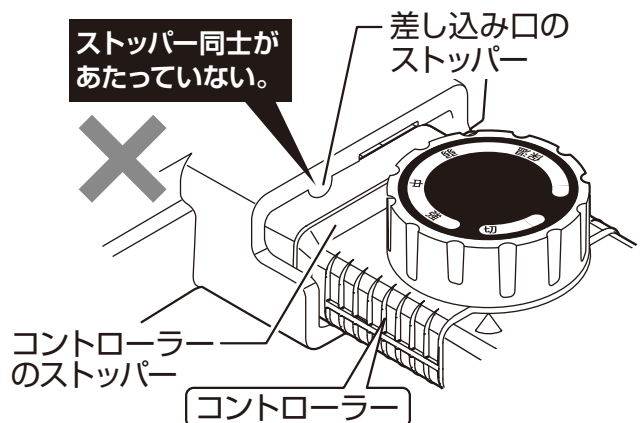
差し込み口の
ストッパー



確実に差し込まれていない状態

ストッパー同士が
あたっていない。

差し込み口の
ストッパー



使いかた

電源プラグを家庭用コンセント (AC 100V) に差し込む

- 温度調節ダイヤルが「切」になっているのを確認して、電源プラグを家庭用コンセントに根元まで確実に差し込みます。

⚠ 警告

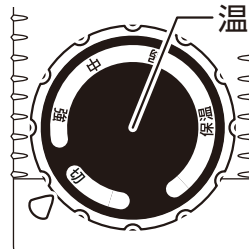


家庭用コンセント (AC100V、定格15A 以上) を単独で使用する

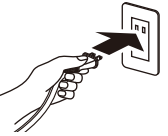
指示に従う

- 家庭用コンセント (AC100V) 以外で使用する、誤作動・故障の原因になります。
- コンセントや配線器具の定格を超える使いかた (タコ足配線など) をすると、異常発熱・火災の原因になります。

「切」になっている状態



温度調節ダイヤル



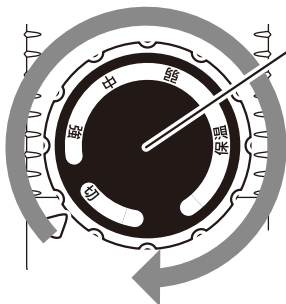
必ず結束バンドを外して、電源コードをのばす。電源プラグをコンセントに真っ直ぐ差し込む。

お願い

- ※ 温度調節ダイヤルが「切」の状態です電源プラグをコンセントに差し込んだとき、電源ランプが点灯していないか確認してください。
- ダイヤルが「切」の状態です電源ランプが点灯したり、使用後ダイヤルを「切」にしても電源ランプが消灯しないときは、コントローラーの故障が考えられますので使用を中止し、18ページの「アフターサービスについて」を参照して、点検や修理を依頼してください。

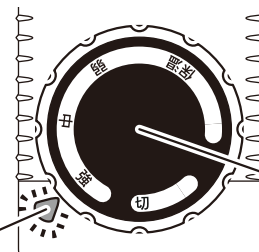
予熱する

- 温度調節ダイヤルを、「強」に合わせます。
- 電源が入り、電源ランプが点灯して加熱 (予熱) が開始されます。
- 加熱 (予熱) が終わると、電源ランプが消灯します。



温度調節ダイヤル
右に回す。
(時計回し)

電源ランプ: 点灯
(電源ランプが消灯
したら予熱完了)



燃えやすい物や
熱に弱い物が
周辺にある場所で
使用しない。

温度調節ダイヤル
「強」に合わせる。

使用中は、ヒーターの入/切に合わせて、
電源ランプが点灯/消灯します。

注意

- ※ 加熱 (予熱) が完了したあとプレートに水分が残ったまま食用油を塗ると、食用油が飛び散ることがありますので、加熱 (予熱) をする前にプレートの水分をよくふき取ってください。
- やけどの原因になります。

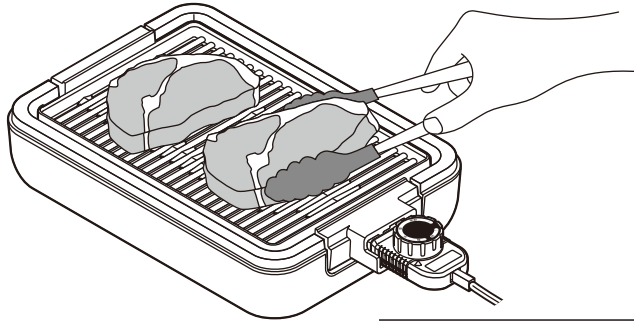
お知らせ

- 予熱時間は、使用環境 (室温やプレートの温度など) により、長くかかることがあります。
- 予熱中や使用中に、カチカチと音がすることがありますが、ヒーターの熱による金属の膨張音であり、異常ではありません。

使いかた

調理する

- 加熱（予熱）が終わったら、プレートに食用油を薄く塗ります。
- 好みの食材をプレートに載せて調理します。
- 調理を途中でやめたいときは、温度調節ダイヤルを「切」に合わせます。



調理温度を調節したいときは

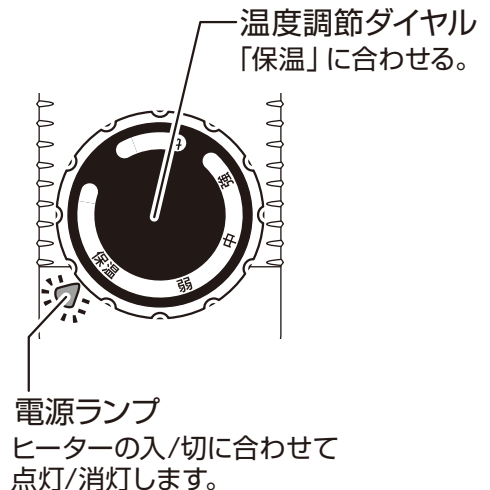
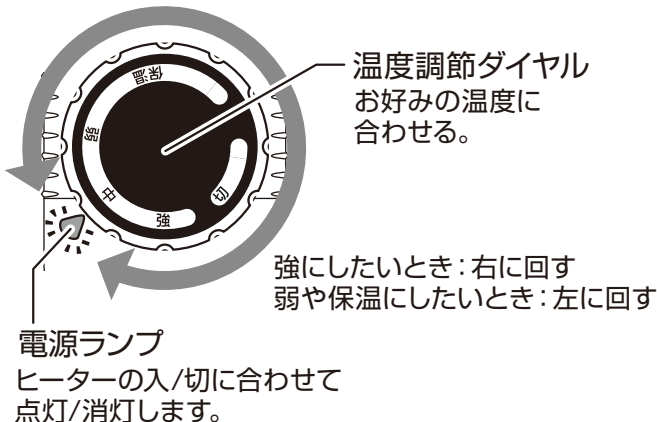
- 温度調節ダイヤルをお好みの温度に合わせ、温度を調節します。

■ 温度の目安

保温	弱	中	強
約80℃	約140℃	約180℃	約230℃

保温するときは

- 調理物を保温するときは、温度調節ダイヤルを「保温」に合わせます。



注意

※食材の水分により、油が飛び散ることがありますので、注意してください。
やけどの原因になります。

お知らせ

- 調理中や保温中に設定温度よりもプレート温度が低くなると、電源ランプが点灯して再加熱（再度ヒーターに通電）を開始しますが、調理物の量や温度によって再加熱するまでの時間が短くなったり、長くなることがあり、一定ではありません。
- 強の状態から弱や保温に合わせると、しばらく電源ランプが消灯します。
プレート温度が低くなると電源ランプが点灯して、加熱や保温をします。

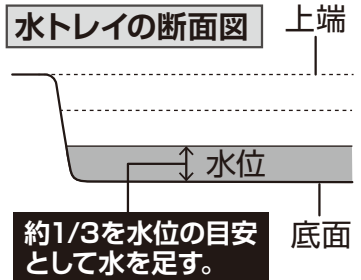
使 い か た

調理する つづき

使用時の水量について 長時間使用するときは、水量に注意してください。

※水トレイの水は、ヒーターの熱により徐々に蒸発します。水が無くなると煙が多くなったり、こげつきの原因になりますので、水量に注意して少なくなったら足してください。

※水を足すときは、温度調節ダイヤルを「切」に合わせ、十分冷めてからプレートを取り外し、右図のように水トレイの底面から上端までの約1/3まで水を足してください。約1/3まで水を足すと約400ccの水量になります。(目安)



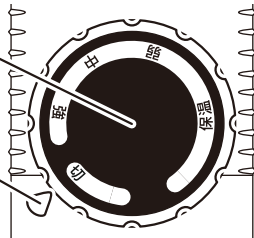
使用後は

- 温度調節ダイヤルを「切」に合わせてから、電源プラグをコンセントから抜きます。
- プレート、水トレイ、感熱棒が十分冷めてから、13～16ページの「お手入れと保管」に従って必ず毎回お手入れをします。

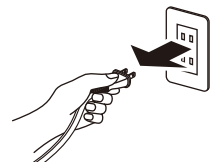
※コントローラーや電源プラグを抜くときは、必ずコントローラーや電源プラグを持って抜いてください。

温度調節ダイヤル
「切」に合わせる。

電源ランプ：消灯



電源プラグを
コンセントから
真っ直ぐ抜く。



注 意

- ※十分冷めるまでは、プレート、水トレイ、感熱棒に触らないでください。
- ※持ち運ぶときは、十分冷めてから本体をしっかり持ってください。
- ※水トレイに水が入ったまま本体を持ち運ぶと、水がこぼれる原因になりますので、水トレイの水を捨ててから持ち運んでください。

フッ素コーティングを長持ちさせるために

プレートの焼き面(表面)と裏面には、フッ素コーティングが施されています。

※コーティング面を保護するために、下記の点に注意してください。

- ◎金属製の器具類(トンガやヘラなど)を使用したり、プレートの表面や角部(コーナー)をこすらない。

※器具類を使用するときは、木製や耐熱樹脂製の物を使用してください。

- ◎落としたり、強い衝撃を与えない。
- ◎調理くず、油、汚れが残った状態で放置しない。
- ◎使用後は、必ず毎回お手入れをして直射日光を避け、湿気の少ない場所に保管する。
- ◎お手入れは、やわらかいふきんやスポンジを使用する。

漂白剤、みがき粉、たわし、スポンジの研磨面、金属ブラシ類の傷が付しやすい物やかたい物でお手入れをしない。

お手入れと保管

※焼き肉グリルは、食品に触れる調理器具のため使用後は必ず毎回お手入れをして、いつも清潔な状態で使用してください。

※お手入れをするときは、けがを防止するためゴム手袋を着用してください。

⚠ 警告



プラグを抜く

お手入れのときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く

●ショート・やけど・感電の原因になります。



指示に従う

お手入れのときは、十分冷めてからおこなう

●やけどの原因になります。

必ずお守りください

※お手入れをするときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いて、プレート、水トレイ、感熱棒が十分冷めてからおこなってください。

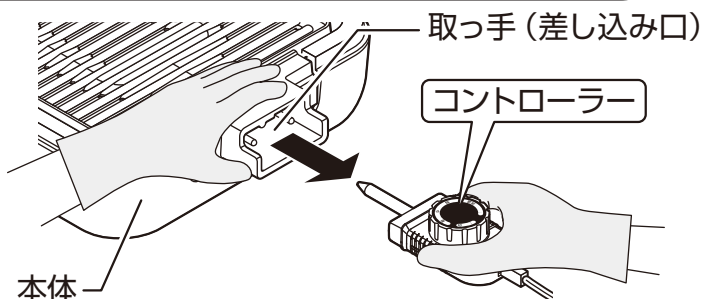
各部品の取り外し

コントローラーの取り外しかた

- 取っ手（差し込み口）を持って、コントローラーを抜きます。

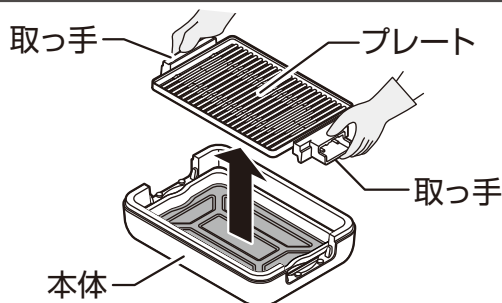
※コントローラーを抜くときは、必ずコントローラーを持って抜いてください。

コントローラーを差し込み口から真っ直ぐ抜く。



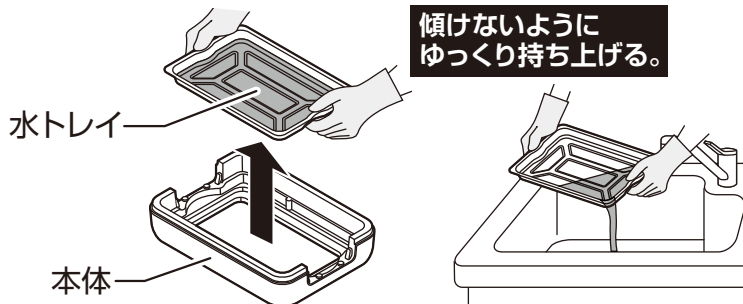
プレートの取り外しかた

- プレートの取っ手を持って、持ち上げて取り外します。



水トレイの取り外しかた

- 水トレイの手掛け部を持って、持ち上げて取り外します。
- 水トレイを傾けないように持ち運んで水を捨てます。



注意

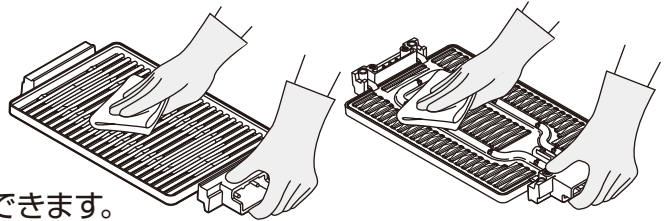
- ※使用後もプレート、水トレイ、感熱棒が余熱で熱くなっているので、十分冷めるまで熱に弱い物の上に置いたり、ポリ袋に入れて保管しないでください。
- ※水を捨てるときは、水が熱くなっているので十分冷めてから捨ててください。
- ※取り外すときは、本体や水トレイを傾けないように注意してください。水トレイの水がこぼれる原因になります。

お手入れと保管

プレートのお手入れ

部分的に水洗いできます

- 調理くず、油、汚れは、水に浸したやわらかいふきんをよくしぼって、ふき取ります。
- 落ちにくい調理くず、油、汚れは、薄めた食器用中性洗剤に浸したやわらかいふきんをよくしぼって、ふき取ります。
さらに乾いたやわらかいふきんで、洗剤が残らないようにきれいにふき取ります。
- ※傷が付しやすい物や かたい物でお手入れをしないでください。
フッ素コーティングを傷める原因になります。
- ※差し込み口やピンは、ぬれたふきんでふかないでください。



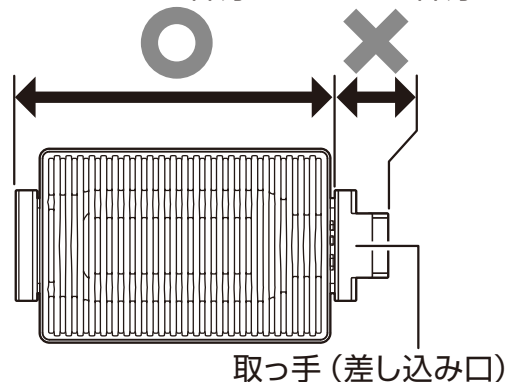
プレートの水洗いについて

- プレートは、部分的に水洗いすることができます。

差し込み口側の取っ手は、水洗いできません。
右図の×部分は、水ぬれ禁止。

- 水洗いするときは、取っ手(差し込み口)全体にビニール袋をかぶせ、水が入らないように袋の口を輪ゴムでとめてから、食器用中性洗剤をやわらかいスポンジに含ませて水洗いします。
水洗いしたあとは、乾いたやわらかいふきんで水分をふき取り、よく乾燥させます。
- ※水洗いしたあとは、必ずよく乾燥させてください。
- ※万が一差し込み口やピンがぬれてしまったときは、乾いたやわらかいふきんで水分を必ずふき取り、よく乾燥させてください。
そのまま使用すると、ショート・感電・火災の原因になります。

水洗いできる部分 水洗いできない部分



取っ手(差し込み口)
差し込み口側の取っ手は、水洗いしない。

警告

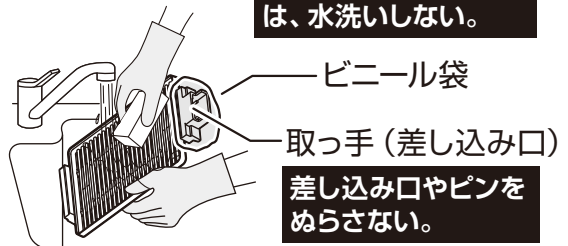


水ぬれ禁止

取っ手(差し込み口)やピンを水に入れたり、水をかけたり、丸洗いをしない

●ショート・感電・火災の原因になります。

◎水にぬれたときは、そのまま使用せず乾いたふきんで必ずふき取って乾燥させる。



ビニール袋

取っ手(差し込み口)

差し込み口やピンをぬらさない。

注意

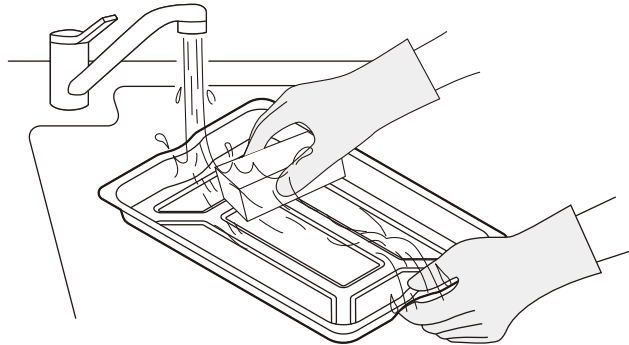
- ※使用後は、必ず毎回お手入れをしてください。
調理くず、油、汚れが残ったまま放置すると変色したり、フッ素コーティングが傷んだり、油の種類によってはプラスチックを劣化させたり、そのまま使用すると、発煙・火災の原因になります。
- ※差し込み口やピンに調理くず、油、汚れが付着したときは、そのまま放置しないで乾いたやわらかいふきんで、必ずふき取ってください。
そのまま使用すると、発煙・感電・火災の原因になります。
- ※プレートをお手入れするときはプレートが重いため、しっかり持って落とさないように十分注意してください。

お手入れと保管

水トレイのお手入れ

丸洗いでできます

- 食器用中性洗剤をやわらかいスポンジに含ませて、水洗いします。
 - 洗剤が残らないように水で洗い流して、乾いたやわらかいふきんで水分が残らないようにふき取り、よく乾燥させます。
- ※漂白剤、みがき粉、たわし、スポンジの研磨面、金属ブラシ類の傷が付きやすい物やかたい物でお手入れをしないでください。
傷が付くと、さびの原因になります。



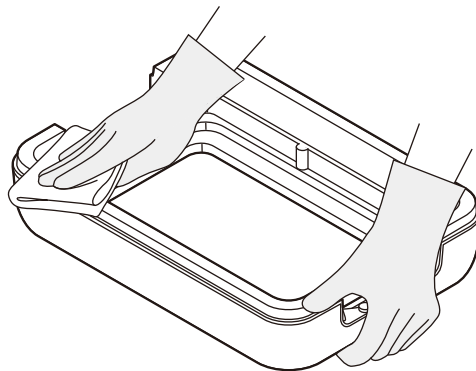
注意

※使用後は、必ず毎回お手入れをしてください。
調理くず、油、汚れが残ったまま放置すると変色したり、そのまま使用すると、発煙・火災の原因になります。

本体のお手入れ

丸洗できません

- 調理くず、油、汚れは、水に浸したやわらかいふきんをよくしぼって、ふき取ります。
 - 落ちにくい調理くず、油、汚れは、薄めた食器用中性洗剤に浸したやわらかいふきんをよくしぼって、ふき取ります。
- さらに乾いたやわらかいふきんで、洗剤が残らないようにきれいにふき取ります。



注意

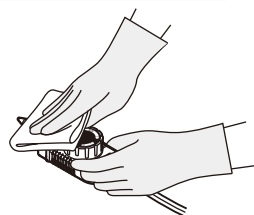
※使用後は、必ず毎回お手入れをしてください。
調理くず、油、汚れが残ったまま放置すると変色したり、油の種類によってはプラスチックを劣化させたり、そのまま使用すると、発煙・火災の原因になります。

お手入れと保管

コントローラーのお手入れ

丸洗いできません

- 調理くず、油、汚れは、水に浸したやわらかいふきんをよくしぼって、ふき取ります。
 - 落ちにくい調理くず、油、汚れは、薄めた食器用中性洗剤に浸したやわらかいふきんをよくしぼって、ふき取ります。
さらに乾いたやわらかいふきんで、洗剤が残らないようにきれいにふき取ります。
- ※感熱棒やピン挿入口は、ぬれたふきんでふかないでください。



警告



コントローラーを水に入れたり、水をかけたり、丸洗いをしない

●ショート・感電・火災の原因になります。

水ぬれ禁止 ◎水にぬれたときは、そのまま使用せず乾いたふきんで必ずふき取って乾燥させる。

注意

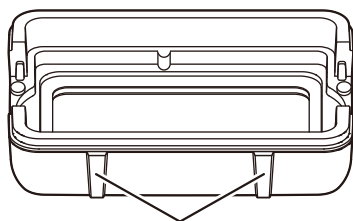
※使用後は、必ず毎回お手入れをしてください。

調理くず、油、汚れが残ったまま放置すると変色したり、油の種類によってはプラスチックを劣化させる原因になります。

保管（収納）

- 保管（収納）の前は、必ず毎回お手入れをします。
- お手入れ後は、よく乾燥させてから直射日光や湿気を避けて保管します。
（湿ったまま保管すると、カビの発生、異臭、故障の原因になります）
- ホコリがかぶるようなときは、ポリ袋や箱に入れて保管（収納）します。

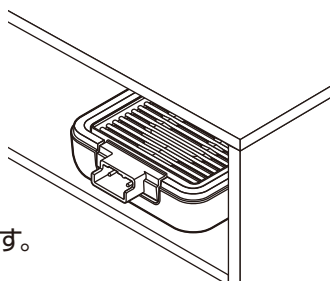
■使用しないときは、平置きや縦置きにして保管（収納）することができます。



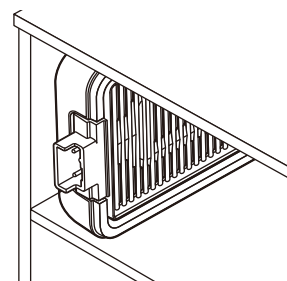
スタンド

スタンドは、本体の片側のみにあります。
縦置きに保管（収納）するときに使用します。
スタンド面を下にして製品を立てます。

平置きで保管（収納）



縦置きで保管（収納）



注意

※水トレイとプレートセットして本体を縦置きにして保管するときは、衝撃を与えないでください。

衝撃によりプレートや水トレイが脱落して、破損・故障・けがの原因になります。

※電源コードの根元を曲げたり、電源コードをコントローラーに巻き付けたり、コントローラー、感熱棒、電源コード、電源プラグに力が加わるような状態で、保管しないでください。

異常発熱・ショート・火災の原因になります。

仕 様

電 源	AC 100V (50-60Hz共用)
消 費 電 力	1000W
製 品 寸 法 (約)	幅: 390mm×奥行: 255mm×高さ: 85mm
製 品 質 量 (約)	1.9kg
コ ー ド 長 (約)	1.9m
温 度 調 節 (約)	保温: 80℃～強: 230℃

- 製品寸法と製品質量にコントローラーは含まれていません。
- 製品の仕様や外観は、改善のため予告なく変更することがあります。

故障かな？と思ったら

※お問い合わせや修理を依頼される前に、下記を確認してください。

症 状	原 因	処置 または お知らせ
電源ランプが点灯しない	●電源プラグがコンセントから抜けていませんか？	●電源プラグを家庭用コンセントに、根元まで確実に差し込んでください。
予熱時間が長い	●食材を載せて予熱していませんか？	●食材を載せずに予熱してください。また食材を載せていなくても予熱時間は、使用環境(室温やプレートの温度など)により、長くなることがあります。
プレートの温度が上がらない	●温度調節ダイヤルが「切」になっていませんか？	●温度調節ダイヤルをお好みの温度に合わせてください。
	●コントローラーが確実に差し込まれていますか？	●コントローラーのストッパーが差し込み口のストッパーにあたるまで、確実に差し込んでください。
調理物がこげる	●調理温度が高すぎませんか？	●調理温度を下げてください。
煙がいつもより多い	●水トレイに水を入れずに調理していませんか？ または 水が少なくなっていないですか？	●水トレイに水を入れてください。
加熱中や使用中に「カチカチ」と音をする	●熱による金属の膨張音ではありませんか？	●金属は熱が加わると膨張して、音がすることがありますが、異常ではありません。
使用中に電源ランプが消灯する	●温度調節のためではありませんか？	●コントローラーによって、ヒーターへの通電を入/切しながら、自動的に温度を調節します。 ヒーターの入/切に合わせて、電源ランプが点灯/消灯します。
温度調節ダイヤルが「切」の状態でも電源ランプが点灯する	●温度調節ダイヤルが「切」の状態でも電源ランプが点灯したり、使用後ダイヤルを「切」にしても電源ランプが消灯しないときは、コントローラーの故障が考えられますので使用を中止し、18ページの「アフターサービスについて」を参照して、点検や修理を依頼してください。	

点検のお願い

安全に長く愛用していただくために
日頃から点検をおこなってください。

★こんな症状はありませんか？

- 電源コードや電源プラグが異常に熱い。
 - 電源コードや電源プラグに深い傷や被覆破れがある。
 - 電源プラグが変形している。
 - 電源コードを動かすと通電したり、しなかったりする。
 - 変形や破損している。
 - 異常な音がする。
 - 製品に触れるとピリピリと電気を感じる。
 - 製品が異常に熱かったり、こげ臭いなどの異臭がする。
 - その他の故障・異常・破損がある。
- 電源プラグやコンセントにホコリやごみが付着している。

★異常があれば

使用中止 !!

故障や事故防止のため、
電源プラグをコンセント
から抜いて、必ず販売店
に点検や修理を依頼して
ください。

ホコリやごみを取り除いてください。

アフターサービスについて

●本製品は、保証書が付いています。

お買上げの際に、販売店より必ず保証欄の
「お買上げ年月日」と「販売店印」の記入を
受けてください。

●保証期間は、お買上げ日より1年です。

保証期間中の修理は、お買上げの販売店に
依頼してください。

保証書の記載内容により、修理いたします。

その他詳細は、保証書を参照してください。

●保証期間経過後の修理（有料）については、 お買上げの販売店に、依頼してください。

●本製品の補修用性能部品の保有期間は、 製造打ち切り後5年です。

補修用性能部品とは、その製品の機能を
維持するために、必要な部品です。

●サービスパーツについて

プレートなどのサービスパーツについては、
お買上げの販売店に、お問い合わせください。

■ 使いかたやお手入れなどのお問い合わせは下記へ

本製品についての取扱いや、お手入れ方法の
お問い合わせ、転居されたり贈答品などで、
販売店に修理の依頼ができない場合は、
右記へお問い合わせください。

「山善 家電お客様サービス係」

ナビダイヤル  0570-077-078

※PHS、IP電話など一部の電話からは、利用できません。
受付時間：10：00～17：00（土、日、祝日を除く）

FAX または Eメールでのお問い合わせも
受け付けています。

その際は、製品名、品番、お問い合わせ
内容、お名前、電話番号を記入のうえ、
お問い合わせください。

●FAXでの
お問い合わせは  0120-680-287

●Eメールでの
お問い合わせは info_m@yamazen.co.jp

個人情報の取扱いについて

株式会社 山善およびその関係会社は、
お客様の個人情報やお問い合わせ
内容を、お問い合わせへの対応や
修理、その確認などのために利用し、
その記録を残すことがあります。
また、個人情報を適切に管理し、修理
業務などを委託する場合や正当な
理由がある場合を除き、第三者には
提供しません。

※お問い合わせのときは、保証書に記載の製品名、品番をお知らせください。